

深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ

発行／青森県深浦町 編集／総合戦略課企画調整係  
0173-74-2111(代表)

# ちびっこ チャンピオン

## 「雨の街」

みよし保育園

(左から)

- かさい めい なさん (5さい)
- よした えい たくん (6さい)
- たばた ほの かさん (5さい)
- よした こう たくん (4さい)
- おおかわ む ぎさん (5さい)

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは誕生日を迎えたちびっこ達をご紹介します



佐藤 空蘭ちゃん  
(岩崎下) R5年6月1日  
「いちご大好き♡  
がまの食いしん坊ガール♡」



### 草創教育長の「今月の一枚」

#### 音読のススメ

文章を声に出して読むとき、脳はもつとも活性化される。これは、すでに脳科学の世界では、さまざまな実験から証明されている事実、たそうです。私も、それこそ頭から信じています。

文字情報を目から脳に入力して口から声として出力する。その声はまた耳から脳に再入力される。音読は、都立三回の情報の出し入れを瞬時に行っているわけです。音読が「脳の全身運動」と呼ばれるゆえんです。

活性化するのは、脳の「前頭前野」という部分だそうですが、音読によってセロトニンという「幸せホルモン」が出て、情緒も安定しておだやかになる、という極上のおまけつきです。

小学校で学級担任をしていた頃は、ほぼ毎日、国語の教科書の音読を家庭学習に課していました。「オレは、そんな古くさい宿題は出さない」と小ばかにする同僚がいると、「逆に、音読を粗末にする人を、私は教員としては認めない」と言い返し、軽蔑しました。

学校の全学級、朝の始業前に音読からスタートするという取組みもしました。決まった時刻になると、ハリのある音読の声が、八方から一斉にこだまします。

あつちからは『平家物語』の一節が、おつちからは宮沢賢治の詩が、えつち？ 一年生がもう松尾芭蕉の俳句を唱えてる…。ウット

りできる、爽快な時間でした。

朝マラソンでは文字通り体の全身運動、次は音読で脳の全身運動。その二つで一日のアイドリリング状態を完璧につくってからスタートする。なかなかの作戦だったと、自画自賛しています。(笑)

この際だから、教材も自前で作ってしまえ、と一念発起して作成した『音読・暗唱教材プリント集』があるので宣伝します。

入門編・初級編・中級編・上級編と分けて編集しており、収録数は約2百編一応、小学生対象に作成したのですが、現代詩、古文、漢文、小説の名文等、大人でも十分に音読を楽しめます。

最近では、音読は高齢者の脳トレにも大変な効果を上げているそうですから、すでに取り組んでいるらっしゃる方もあるでしょう。

冊子ではなく、PDFをCDにおさめたものですが、まだ手元に十枚ほど残っています。

（教育長 草創 文人）

